

下山小学校 総合的な学習の時間の全体計画

わくわくタイム

めざす子ども像 校訓：みんな仲良くカー杯

- ・地域、保護者、関係団体との連携
- ・PTA
- ・社会教育委員会
- ・奮の会
- ・スポーツクラブ
- ・消防団

各教科との関連
 (国語) 場に応じた表現力
 (社会) 郷土の地理や歴史、社会の仕組みの理解、資料を読み取る力
 (算数) 数量や図形の応用力
 (理科) 自然事象への理解、科学的なものの見方
 (音楽) 音楽的な表現力
 (図工) 造形的な表現力
 (家庭) 衣食住への知識技能
 (体育) 健康安全への知識理解、身体表現力
 (道徳) 公衆道徳、モラル
 (特活) 自主自立力、実践力
 (生活)
 ・調べたいこと、やりたいことを見つけられる。
 ・身近な人から聞き取りをすることができる。
 ・本や図鑑から調べられる。
 ・自分の思いや考えを話す。書く、描くなどが表現できる。
 ・学習したことを生活の中で生かせる。

- ・主体性・自律性に富み、仲間と共に(みんな)、探求心(深く考え)と奉仕の心(汗してなかよくがんばる)をもつ子ども
- ・地域の自然・歴史・暮らしに関心を持ち、自ら学習に粘り強く取り組み、郷土(ふるさと)を愛する子ども

総合的な学習の時間の指導方針

- ・地域の環境(人・こと・もの)に関する活動を中心に、子供自らの生活や地域を見つめ地域に働きかけ、生活を切り開いていく学習にしていく。
- ・子供の「かかわり」「こだわり」「体験」をキーワードにした学習(子供たちの興味・関心・思い・願い・こだわり等)に基づいて組織していく。
- ・目の前の子供の思いを大切にして、各学年でテーマを設定し、地域との交流、地域への発信等の活動を展開していく。

育てたい力	中学年評価基準	高学年評価基準
課題設定能力	・自分を取り巻く事象に関心を持ち、問題や調べたいことを見つけ、課題を決めることができる。	・事象に様々な関心を持ち、体験を基に進んで問題や調べたいことを見つけ、自分の追究していきたい課題をもつことができる。
問題解決能力	・課題解決するための見通しを持ち、計画を立てることができる。 ・本やインターネットなど調べる方法を知り、その中から必要な情報を収集することができる。	・課題解決するための手だてを明確にし、計画を立てることができる。 ・様々な角度から多様な情報を収集するとともに、その中から必要なものを選択することができる。
人と関わる力	・調べたいことや知りたいことを取材したり、インタビューをしたりすることができる。	・進んで取材やインタビューを行い、課題に対する情報を集めたり、こだわりをもって課題追究したりすることができる。
振り返る力	・体験したり調べたりしたことや友達と意見交換をしたことを比較しながら、自分の考えをもつことができる	・体験したり、友達や地域の方と交流したりしたことをもとに、多面的・総合的に考えることができる。
表現力・発信力	・自分が追究して明らかになったことを相手に分かりやすく工夫して表現することができる。	・自分が追究して明らかになったことを相手に納得させるような方法で表現したり、発信したりすることができる。

評価
 ・身につけたい力に基づいた評価基準の設定(評価方法)
 ・授業日記
 ・相互評価の場面設定

学年年間活動内容

3・4年	5・6年
ササユリ保護育成活動	田んぼ活動 ・米作りに関わる全ての活動を自分たちでやる。 ・学区のお年寄り、名古屋市川中小学校児童との交流。

わくわくタイム運営計画

内容	学級テーマ追究	ササユリ活動	福祉教育	環境(岡崎市環境学習プログラム)	合計
3・4年	7時間	5時間	8時間	15時間	35時間
5・6年	45時間	5時間	5時間	15時間	70時間